

















## 日枝神社

山王さんの名で富山市民に親しまれる富山市一番の大神で、市内の中心部五十三ヶ町が氏子である。

佐々氏、前田氏と歴代の城主も深く崇敬し、富山城下の産土神ウチノクニノカミとしてきた。

もとは、新川郡針原郷大野にあつたが、建武二年（一三三五）戦で焼かれ、大山町隠土に避がれ、その後中野村古宮へ、貞治六年（一三六七）以後婦負郡藤居村（今の富山城址付近）に、遷したと伝える。

佐々成政が城の守り神として祀つたが、のちの加賀二代藩主前田利長から現在の社地を寄進されここに移った。

祭神は大山咋神オホヤマノクサシ、大己貴神オホニギハヤヒで旧藩以来、藩を以つて祀られていた北の神明の天照大神、中の神明の豊受大神を明治の廃藩後相殿として共に祀る。

境内には成政が大切にしていた弁慶石という庭石がある。

六月一日二日の大祭は山王祭りとして全国に知られ、約千軒の露店が立ち並び賑わいをみせる。

平成十四年

富山市

















































































